

エコアクション21

環境経営 レポート

松江八束

清掃協同組合

18版

豊かな自然と水の都
松江市
人と自然が
この現代社会において
持続的に共生できる世界が
実現できるよう
今、私たちにできる小さな事
からコツコツと積み上げ
次世代へとつなげたい

松江八束清掃協同組合 SDGs 宣言

当組合は国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、
持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

住み良い生活環境づくり



環境に貢献する事業や環境に配慮した職場。一般廃棄物収集運搬業務を通じ、持続可能な環境保全活動を行います。廃棄物の最小化、リサイクル資源の有効活用に努めます。

【具体的な取り組み】

- ・排気ガスや騒音レベルを抑えるため、適正な車両整備を行い公害発生防止に努める
- ・集積場所周辺の美化に努める
- ・エコドライブの徹底
- ・組合敷地内の清潔保持に努める
- ・ごみの分別を徹底する

環境負荷の低減



環境マネジメントシステムの構築・運用により継続的な環境保全活動に努め、事業活動にかかる環境負荷の低減に貢献してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・エコアクション 21 認証取得
- ・グリーン購入の推進
- ・各種排出量の調査
- ・事務所及び現場事務所内の LED 化

地域貢献



ボランティア活動の継続的な取り組みにより、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・クリーンまつえ
- ・中海・宍道湖一斉清掃

人権・雇用



ワークバランスに配慮し、職員にとって働きやすく、やりがいのある職場を目指します。

【具体的な取り組み】

- ・1時間単位での有給休暇取得
- ・育児・介護・看護休業の積極的な利用促進
- ・女性が活躍できる職場環境サポート
- ・健康診断後の保健指導の積極的実施

目 次

01

代表挨拶

02

環境管理責任者挨拶

03

会社概要

04

環境経営方針

05

事業内容

06

事業規模

07

実施体制図

08

環境経営目標
取組結果と評価
次年度の取組内容

09

環境保全活動

水使用量削減

二酸化炭素排出量削減

灯油使用量削減

(新車両の性能について)

軽油(燃費)使用量削減

電気使用量削減

経営目標と実績一覧表

10

その他の取組

労働安全の推進・教育訓練

ワークバランス

環境関連法規等の遵守状況の
及び評価の結果・違反訴訟等の有無

12

代表者による全体評価の見直しの結果

P3

P4

P5

P6

P7

P8

P10

P11

P12

P13

P14

P15

P16

P17

P18

P19

P20

P21

P22

P23

P24

P25

P26

01 CHAPTER

代表挨拶

松江八束清掃協同組合は、平成18年（2006年）に鳥根県中小企業団体中央会からのご提案をいただき、環境にやさしい経営の取り組みを目的とした『エコアクション21』の取り組みを始めました。当時、中国地方の協同組合組織としては初めての認証登録の取得となりました。それから18年余り、組合職員の努力と組合員従業員の取り組みへの協力を受け続けてくることが出来ました。



松江市の一般廃棄物収集運搬業務代行者としての責務を担う私たちは、今後、松江市のSDGs（持続可能な開発目標）そしてカーボンニュートラルの取り組みにも結びつけながら、人に優しく、地球に優しいことを一人ひとりの積み重ねにより点から線へ線から形へと広がっていくように意識を高めてまいります。そして、【継続は力なり】を合言葉に少しずつ前に進んでまいります。

代表理事 柳樂 幸子

CHAPTER 02

環境管理責任者挨拶



2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。温室効果ガスのうち、もっとも多く排出されているのがCO₂です。CO₂削減に向けての取り組みは、収集運搬事業にとって避けては通れない大きな課題です。私たちが従事する仕事は、日常生活を送る上で必要不可欠な業務です。しかしながら、移動手段として欠かすことのできない塵芥車の排気ガスは大気汚染を引き起こし、環境問題となっています。私たちの暮らしは、豊かで便利になる一方で地球環境の悪化を招いている。こういった現状を踏まえて温室効果ガスに重点を置き、軽減に向けての意見交換の場を増やすなど問題点をいち早くキャッチし改善に努めました。また、今回の環境経営レポートで注目して頂きたいのは、地域貢献活動です。様々な美化啓発活動を18年間続けてまいりました。これからも地域の方と共に自然環境の保全に努めてまいりたいと思います。

環境管理責任者 松崎 竜次



03 CHAPTER

会社概要

事業所名	松江八束清掃協同組合
代表者氏名	代表理事 柳樂 幸子
所在地	島根県松江市西持田町 1292 番地 1
創立年月日	1984 年 3 月 23 日
資本金	160 万円
事業内容	事業協同組合運営サービス 一般廃棄物収集運搬（松江市委託）
環境管理責任者	松崎 竜次
連絡先	TEL 0852-21-9919 FAX 0852-25-2983 E-mail. matsueyatsuka.seisou@bloom.ocn.ne.jp
対象期間	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
対象範囲	松江八束清掃協同組合
売上高	5,175 万円
従業員	9 人
床面積	86,552 m ²

04 CHAPTER

環境経営方針

基本理念

環境整備は快適な生活環境を確保し、住み良い生活環境への近代化を促進します。

21世紀の重要なテーマである循環型社会の構築を目指すためにも、一人一人が何をすべきかを考え、問題提起をし、継続的に行動していくという意識改革をしていかなければなりません。

そのためにも『リデュース（減量）・リユース（再利用）・リサイクル（再資源化）・リフューズ（拒否）』の精神のもと、環境にやさしい社会を目指すべく、以下のとおり経営方針を定めます。

基本方針

当組合は基本理念をもとに、関係法令を守り、次の事項を自主的、積極的に取組むとともに定期的な見直し及び環境経営システムの継続的な改善を行います。

1) 事業活動における環境保全の具体的取組

- ①事業活動に伴い発生する廃棄物の最小化を目指すとともに、分別の徹底によりリサイクル資源の有効活用に努めます。
- ②一般廃棄物収集運搬業務に伴い発生する騒音、振動及び悪臭防止等に十分留意し、公害発生の防止に努めます。
- ③組合の管理運営にあたっては、環境保全、省資源化に努めるとともに二酸化炭素排出量、水道使用量の削減に努めます。
- ④事務用品その他必要資材の調達に当たり、グリーン購入を推進します。
- ⑤一般廃棄物収集運搬業務において、自らの提供するサービスを通して集積所周辺の清潔保持及びエコドライブ等の徹底により環境配慮に努めます。

2) 環境関連法規等の順守

環境関連法規制及び組合が同意するその他の各種協定等を順守します。

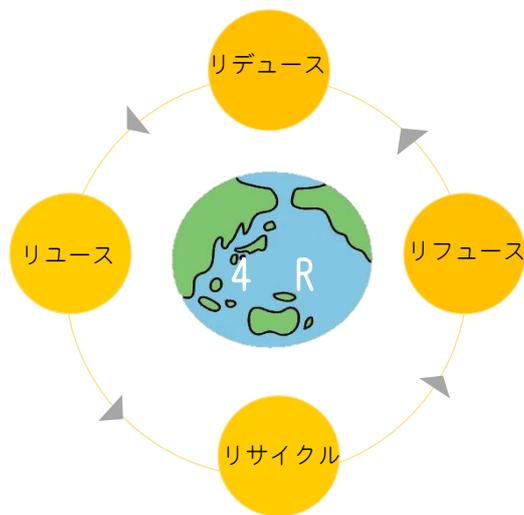
3) 生物多様性の観点から地域社会貢献活動及び地域環境保全活動に取り組めます。

4) 継続的改善の実施

事業活動に伴い環境に与える影響を的確に把握し、技術的・経済的可能性を考慮の上で環境目標を設定し、実施し、見直し、評価し継続的改善に努めます。

5) 環境経営方針の周知及び環境活動レポートの公表

本方針を全組合員及び全職員に周知徹底するとともに環境活動レポートを一般の方に公表します。



飛散ゴミの回収



運転の見える化によるエコドライブの徹底



社会貢献活動

制定日 平成18年4月1日

改訂日 令和4年7月20日

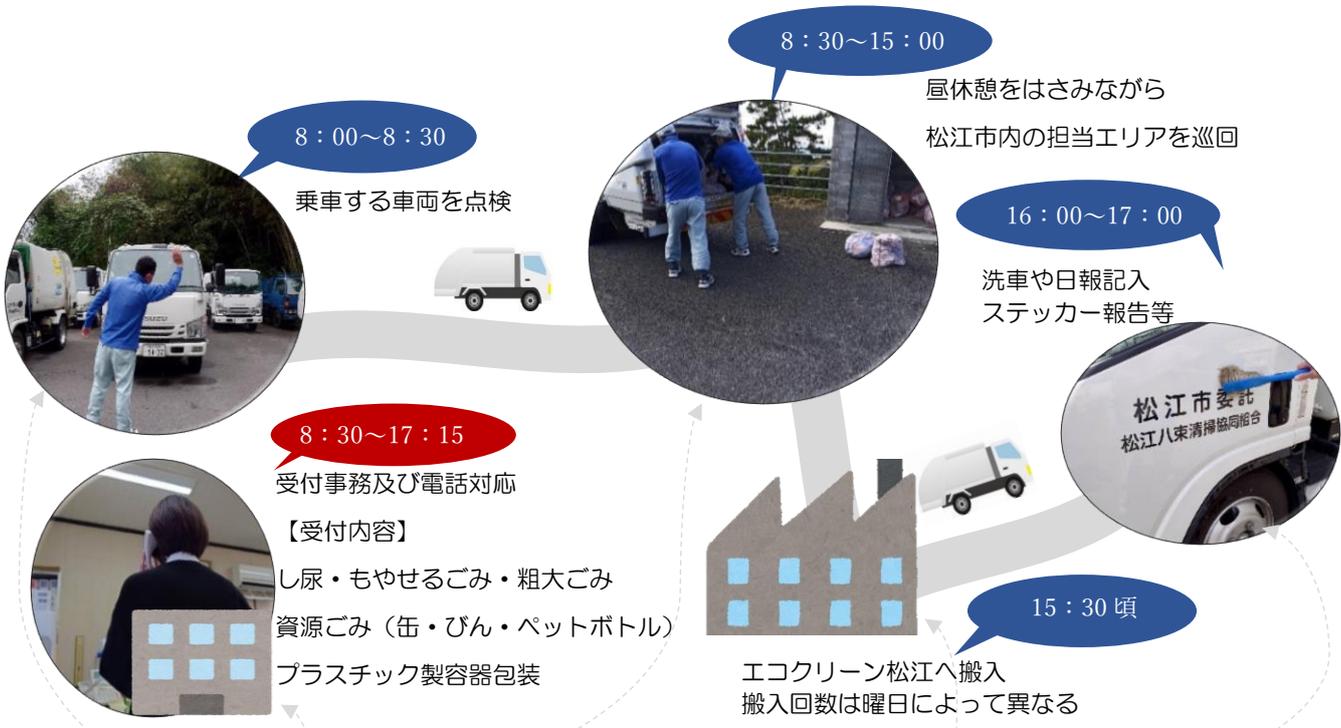
松江八束清掃協同組合

代表理事 柳樂 幸子

05

CHAPTER

事業内容



事業規模

もやせるごみ

年度	2021	2022	2023
品目	塵芥車	塵芥車	塵芥車
台数	1	1	1
収集運搬量 (t)	707.40	673.46	624.53

【年式】

令和1年8月28日

【乗車定員】

3人

【車両重量】

4,290 kg

【最大積載量】

3,000 kg



車両番号

島根 800 さ 9432

プラスチック製容器包装

年度	2021	2022	2023
品目	塵芥車	塵芥車	塵芥車
台数	1	1	1
収集運搬量 (t)	200.07	198.96	197.68

【年式】

令和5年8月25日

【乗車定員】

3人

【車両重量】

4,430 kg

【最大積載量】

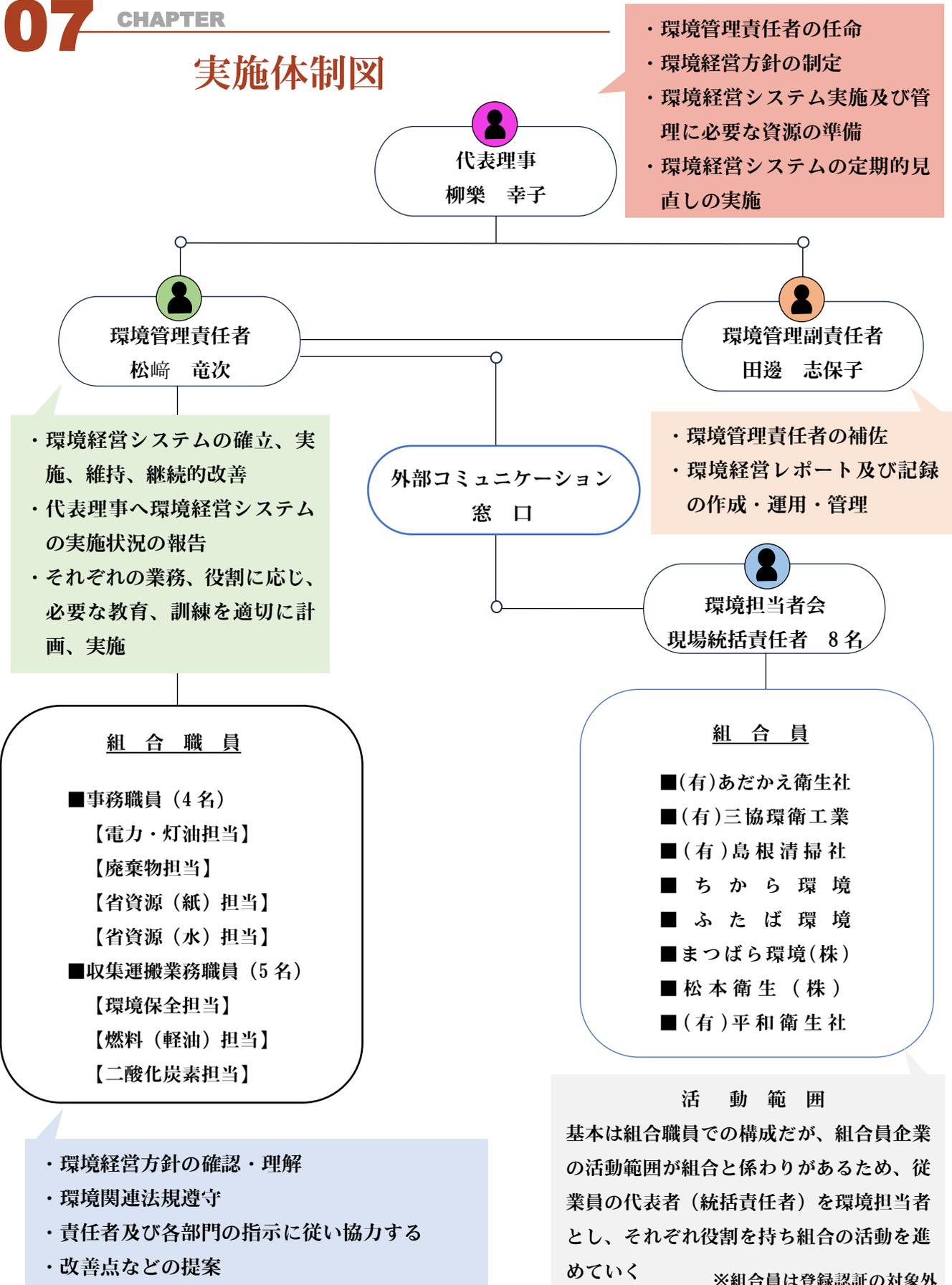
2,800 kg



車両番号

島根 800 す 446

実施体制図



環境経営目標・取組結果と評価 次年度の取組内容

STEP01



電 力

STEP02



燃料（軽油）

STEP03



燃料（灯油）

STEP04



二酸化炭素

STEP05



節 水

環境経営目標（年度及び中期長期目標）

環境方針	環境目標項目	単位	基準値 (基準年度)	単年度目標	中長期目標		備考
				2023年度	2024年度	2025年度	
温室効果ガス排出量の削減 省エネルギー	電力使用量の削減	Kwh	7,836 (2022年度)	7,836 ▼ 7,436	7,405	7,331	
	軽油使用量の削減	ℓ (km/ℓ)	8,054 (2020年度) 燃費 (4.10)	8,054 プラ (4.70) 可燃 (4.87)	6,835 プラ (5.36) 可燃 (4.82)	6,767 プラ (5.36) 可燃 (4.82)	2023年度よりプラスチック、可燃の目標燃費を別々にする ()内数値は燃費
	灯油使用量の削減	ℓ	349 (2020年度)	349	189	187	
	二酸化炭素排出量の削減	kg -co ₂	26,233 (2022年度)	26,233 ▼ 25,999	22,437	22,213	電力目標値修正に伴い、二酸化炭素排出量の目標値も修正
	水使用量の削減	m ³	190 (2021年度)	190 ▼ 196	191	189	

※2023年度の実績値を2024年度の目標値とする。

※2025年度の目標値は2024年度目標値より1%削減した数値を目標値とする。

※購入電力の二酸化炭素排出量：0.585 kg-co₂/kwh で算出（令和元年度中国電力調整後排出係数）

※化学物質は使用していない為、目標として定めない。使用することが生じた場合は適正管理を行う。

※省資源（紙使用量の削減）と廃棄物排出量の削減については、取組みが定着している為目標値として定めないが活動継続していく。

※液化石油ガスは使用しているが、敷地内に事業所を置く組合員の使用量を含むため目標として定めない。

※環境保全については数値目標を設定せず、環境経営計画の取り組み状況を定期的に確認することとする。

環境経営目標の実績

（2023年度4月1日～2024年3月31日の実績）

評価記号 ○ 目標達成
× 目標未達成

環境方針	環境目標項目	単位	2023年度		達成率	評価	備考
			目標値	実績値			
温室効果ガス排出量の削減 省エネルギー	電力使用量の削減	Kwh	7,436	7,405	99.6%	○	
	軽油使用量の削減	ℓ (km/ℓ)	8,054 プラ (4.70) 可燃 (4.87)	6,835 プラ (5.36) 可燃 (4.82)	84.8%	○ ○ ×	()内は燃費
	灯油使用量の削減	ℓ	349	189	54.2%	○	
	二酸化炭素排出量の削減	kg -co ₂	25,999	22,437	86.3%	○	
節水	水使用量の削減	m ³	196	191	97.4%	○	

※水は敷地内に事業所を置く組合員の投入量を含む。また貯留タンクの雨水の使用量については把握していない。

STEP 01

電気使用量削減

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

12 つくも責任
つかる責任

13 気候変動に
具体的な対策を

単年度目標 7,436kwh
 年間使用量 7,405kwh
 達成率 99%



経営計画・達成手段 (2023 年度)

- ・室内温度の適正化 (冷房 28℃、暖房 23℃)
- ・パソコン等 OA 機器を省電力設定にする
- ・ゴーヤによる「緑のカーテン」で節電効果を高める
- ・不要時の照明消灯、減灯の徹底
- ・クールビズ・ウォームビズ運動を実施し冷暖房機の使用を抑える
- ・終業時、冷暖房機の「早めのスイッチオフ」を実施する

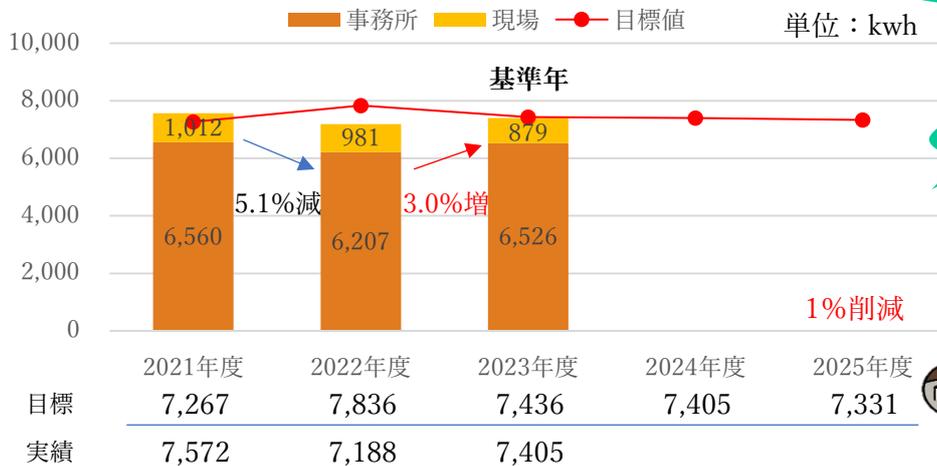


今年度もゴーヤカーテンを設置し、事務所内の温度上昇を抑え節電に努めた。また、サーキュレータを活用し冷暖房の効率化を図った。
 令和 4 年 7 月 (事務所)
 令和 5 年 3 月 (会議室・現場事務所)
 蛍光灯から LED に交換。中長期計画 (2024~2025 年度) も 2023 年度の活動を継続する。

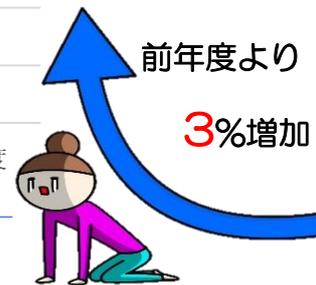
今年の夏は
猛暑が続きました



環境経営計画及び取組結果



詳細は、文書 P06 (NO.1)



評価と次年度の目標と取組み

今期は、前年度より 3% 使用量は増えたが、目標は達成することができた。前年度より使用量が増えた原因として考えられるのは夏の猛暑。気象庁の観測によると昨年度の 8 月の日平均気温は 27.9℃、今年度は 29.4℃ と 1.5℃ ほど上昇。35℃ を超える日が 15 日あった。冬は、インフレによる灯油価格の値上がりに伴い、エアコンとストーブを併用し対策に努めた。1~3 月は前年度より使用量が増えたが、その分、灯油使用量は前年度より 31% 削減という結果となった。エアコンの設定温度に気を付けながら節約をしているが、節約を意識するあまり体調を崩してしまわないよう注意をしながら無理のない範囲で快適さと節電のバランスを考えたい。来年度は今年度の実績を目標値とし、達成を目指す。

STEP 02

軽油使用量削減



単年度目標 8,054ℓ
 年間使用量 6,835ℓ
 達成率 84%



経営計画・達成手段 (2023 年度)

- ・エコドライブを徹底する
- ・収集コースを見直し、走行距離の短縮を図る
- ・適正な車両整備（日常点検）を行う
- ・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値を保つ

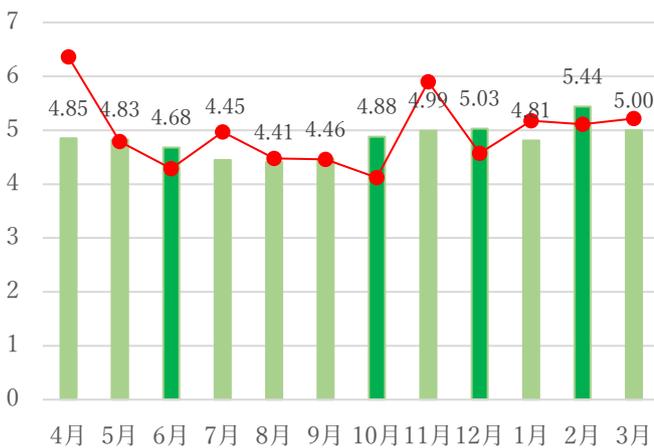
毎朝、各自が乗車する車両を項目に従って点検。日頃から塵芥車の状況を把握し、適切な維持、管理に努めた。中長期計画（2024～2025 年度）も 2023 年度の活動を継続する。



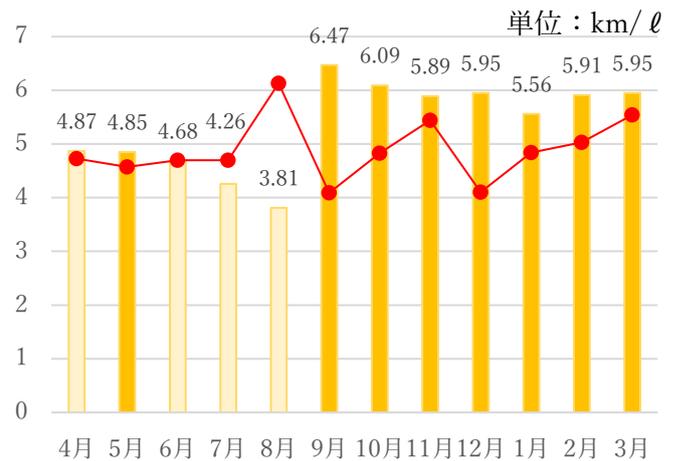
環境経営計画と取組結果

燃費実績

可燃車両 (9432)



プラスチック車両 (6591/446)



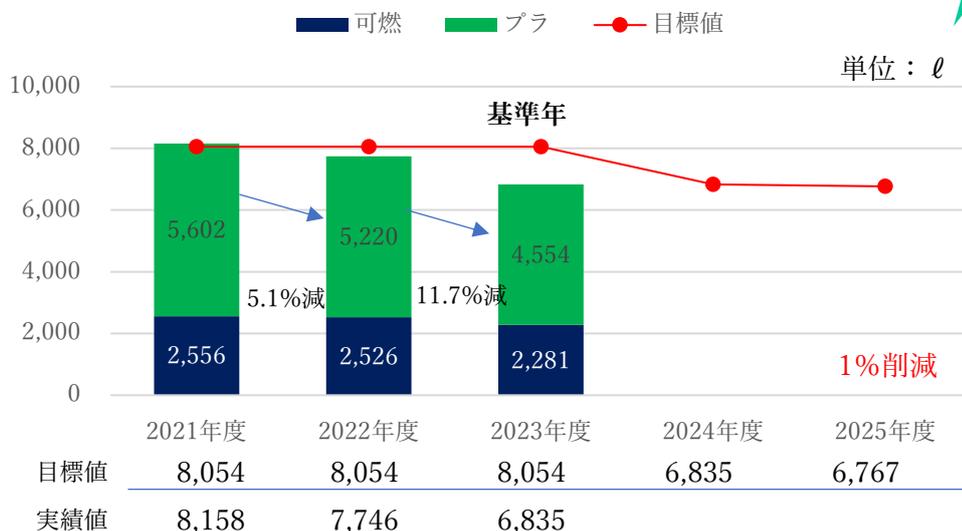
■ 前年度より燃費が向上した月 ● 2022 年度実績値

※プラスチック車両：令和4年度6月～8月、65-91修理の為、代車使用。 ※令和5年9月以降65-91から新車(446)

※燃費は代車、予備車分は含まない

軽油使用量実績

詳細は、文書 P06 (NO.3.4.5)



前年度より

11%削減

1%削減



評価と次年度の目標と取組み

軽油使用量は、前年度より 11%削減することができた。月別の目標達成は、8 月が未達となった。猛暑が続くエアコンの使用量が増えたことと、8 月末にプラスチック収集車両は新車 446 (39ℓ) と予備車 62-55 (11ℓ) 実走行無しで給油のみ行ったため軽油使用量がオーバーし、燃費も下がったと考えられる。9 月以降は新車を導入し様々な性能を発揮した結果、プラスチック収集では軽油削減や燃費向上することができた。

来年度より燃費の月別目標は、今期の実績を月々の目標として今年度の平均値 (可燃収集 4.82km/ℓ プラスチック収集 5.36km/ℓ) を最終目標に定める。

車両は細かい部品の集合体であり、経年劣化により本来の燃費性能を発揮できなくなるのは否めないが、整備不足や負担のかかる運転をしないなどひとりひとりが出来ることを考えながら良好な状態を保ち続けていくことが目標達成に向けて大切なことだと感じた。

今年度の内部コミュニケーションは 2 ヶ月に 1 度、現場作業員で車両に関連した会議を行った。それぞれが乗車する車両の状況報告や問題点を共有し、課題に向けて全員で取り組んでいた。来年度も情報の共有をしながら少しでも燃費が向上するよう適切な維持と管理に努めたい。

ELF

2023年9月より
プラスチック製容器包装
の収集車両が新しくなり
ました。性能について少し
ご紹介します！

じんかい車



ECONOMY クラストップレベルの燃費性能。

DPD をエンジン本体に近接配置したことで、流入する排気ガスの高温化を実現し、スス詰まり、堆積を低減している。



■「尿素 SCR システム」搭載
有害な排出ガスを浄化するシステム。
窒素酸化物という有害な物質と化学
反応を起こして無害化している。



■ECONO モード搭載
燃費を意識した、自動変速。
運転技量で大きな差が出にくく、誰
でも省燃費運転が可能。



■LED ヘッドランプ
ハロゲン式より「長寿命」「省電力」。

STEP 03

灯油使用量削減

単年度目標 349ℓ
 年間使用量 189ℓ
 達成率 54%



経営計画・達成手段 (2023 年度)

- ・ 灯油使用量を記録、把握し節約に努める
- ・ 室内温度の適正化 (暖房 23℃) を徹底する
- ・ 重ね着等服装の工夫をし、暖房の使用を抑える

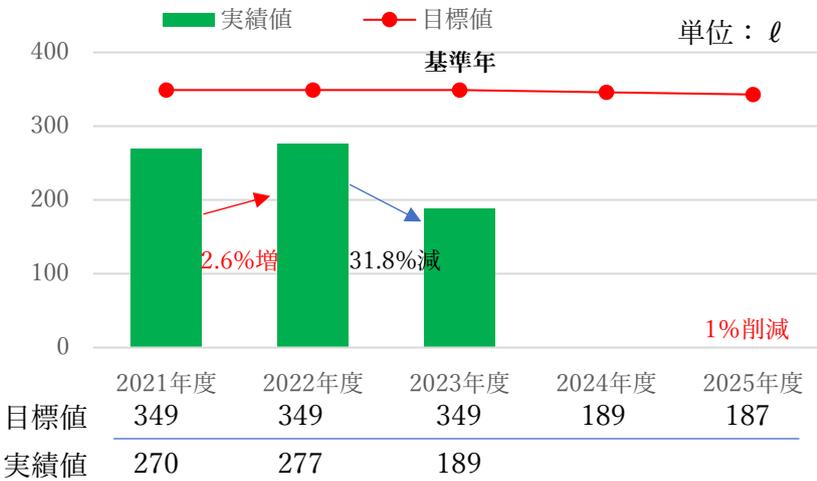
適正な室内温度を保つために温度計を設置し、13 時と 16 時に室内温度を確認し記入。夏場と同様にサーキュレータを活用。効率化を図る。中長期計画 (2024~2025 年度) も 2023 年度の活動を継続する。



節約しながら暖まる工夫をしよう



環境経営計画及び取組結果



詳細は、文書 P06 (NO.6)

前年度より

31%削減



評価と次年度の目標と取組み

今期は前年度と比べ 31%削減することができた。インフレによる灯油の価格が上がり、エアコンとストーブを併用しながら灯油削減に努めた。また、寒さ対策として上着を 1 枚多めに上備をしたり、湯たんぽなど電気を使わない保温器具を活用するなど灯油の削減に努めた。快適温度は人によって差が出るため微調整は個人個人で行なうようにしている。来年度は具体的な目標設定にするため今年度の実績値を目標値とし、個々で工夫をしながら削減に向けて取り組みたい。

STEP 04



二酸化炭素排出量削減

単年度目標 25,999kg-co₂
 年間使用量 22,437kg-co₂
 達成率 86%

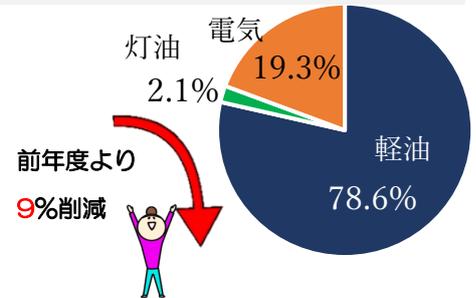
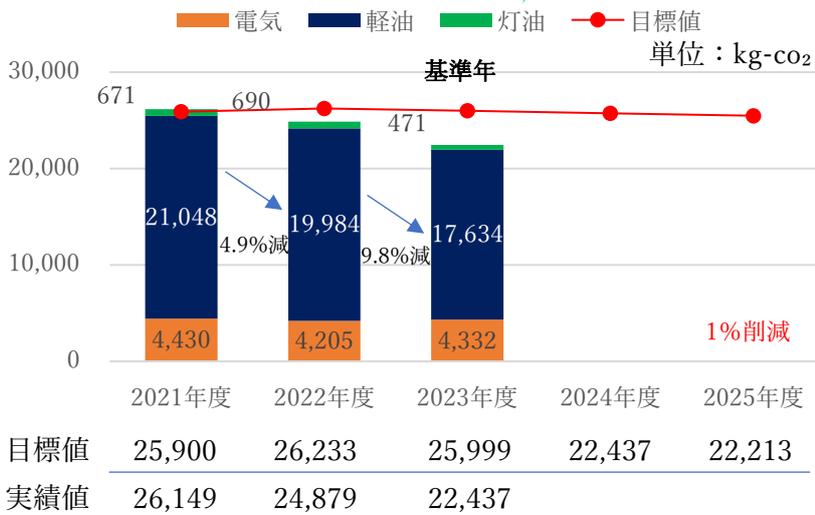


環境経営計画及び取組結果

詳細は、文書 P06 (NO.7)

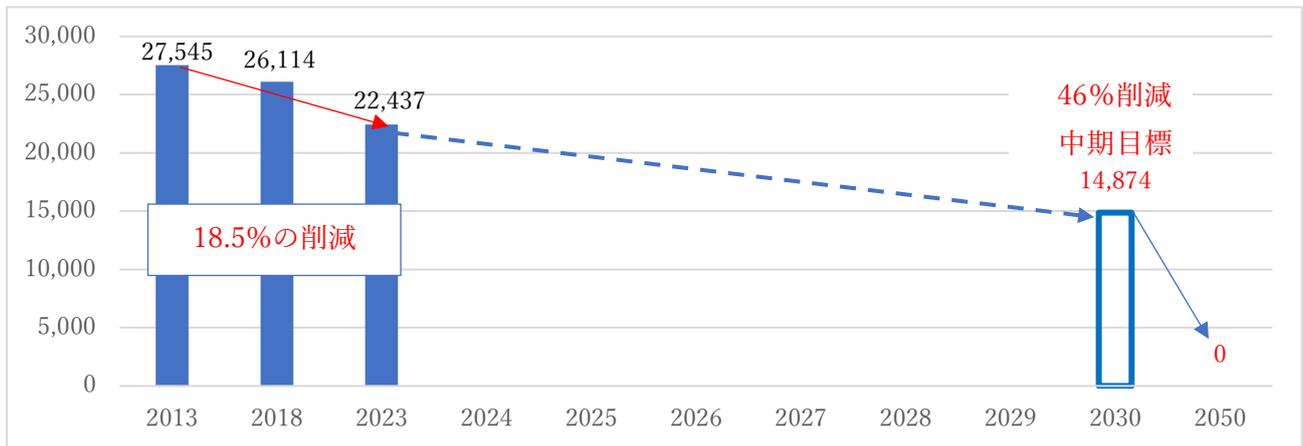
経営計画・達成手段 (2023年)

- ・電力使用量削減
- ・軽油使用量削減
- ・灯油使用量削減



2050年カーボンニュートラルに向けて (2013年度比)

単位：kg-co₂



日本政府は2021年度「気候サミット」(米政府主催)において2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指した中期削減目標を表明。カーボンニュートラル実現に向けての道りは大変厳しい状況ではあるが、基本理念の環境にやさしい社会を目指すため、できることから一歩ずつ確実に前進したい。

STEP 05

水使用量削減

単年度目標 196 m³
 年間使用量 191 m³
 達成率 97%

※敷地内に事業所を置く組合員の使用量を含む



目標達成



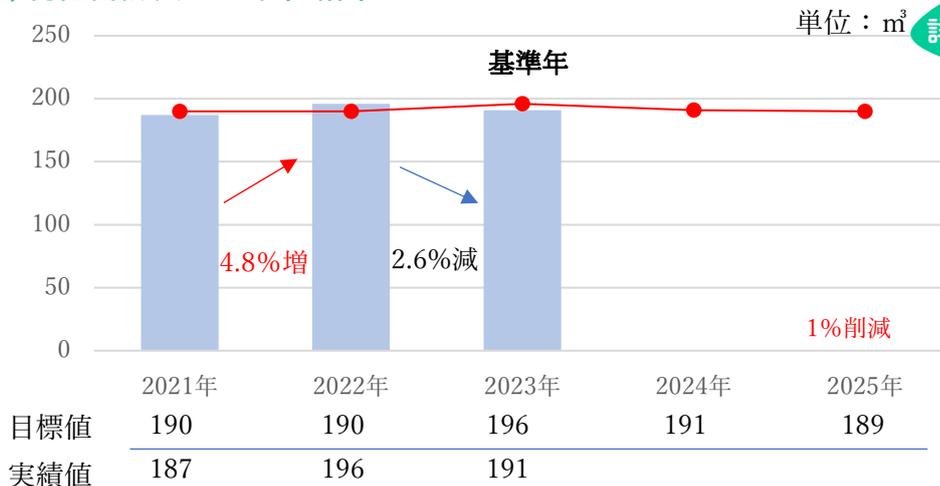
経営計画・達成手段 (2023 年度)

- ・貯留タンクの利用で雨水による洗車及びトイレ清掃を行う
- ・ストッパー付き洗車ホースを使用し、節水に努める
- ・手洗い時、水道の流しっぱなしをしない
- ・節水ポスターでの啓発を行う

敷地内に 3 台、貯留タンクを設置し、雨水を溜めて節水に心掛けました。
 中長期計画 (2024~2025 年度) も 2023 年度の活動を継続します。



環境経営計画及び取組結果



詳細は、文書 P06 (NO.2)

前年度より

2%削減



評価と次年度の取組内容

令和 4 年度から悪臭防止、環境衛生向上の観点から洗車を強化する取り組みが始まり、それに伴い水使用量も増えた。今年度は降水量が多かった影響か、前年度と比較すると 2%削減することができた。貯留タンクの使用量は把握していないが、貯留タンクを優先的に使うことが定着してきたように思える。敷地内に事業所を置く組合員の使用量も含むため、組合内だけでなく全事業所に削減の呼びかけを徹底し、来年度は今年度の実績を目標値とし達成に向けて取り組む。

環境保全活動

自らが提供するサービス



経営計画・達成手段（2023年度）

- ・収集作業時に集積場所周辺のごみ拾い、清潔保持に努める
- ・集積場所への不適物排出等の場合、ごみ分別ステッカー等で指導、啓発を行い、松江市へ報告書提出
- ・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値を保つように努める
- ・排気ガスや騒音レベルを抑えるため、適正な車両整備を行う
- ・収集車両の油漏れがないことを確認する

各集積場の清潔保持に努めた。飛散ゴミを出さないよう後ろの蓋が閉まっているか確認し走行した。車両点検においては、毎日の点検をしっかりと行い、それぞれの車両に責任を持って管理することができた。2023年度の活動を来年度も維持し、環境保全に努めたい。

点検は欠かさずに



■飛散ゴミ回収

集積所の飛散したゴミを回収し環境保全に努める。



■不適物にステッカーを貼る

不適物があった場合、ステッカーを貼り松江市へ報告。



■車両点検

15項目の点検表に沿って出発前に各自が乗車する車両を点検。月に1度、全作業員で1台ずつ点検漏れがないか確認している。

社会貢献活動



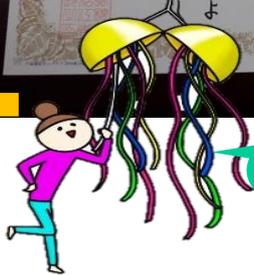
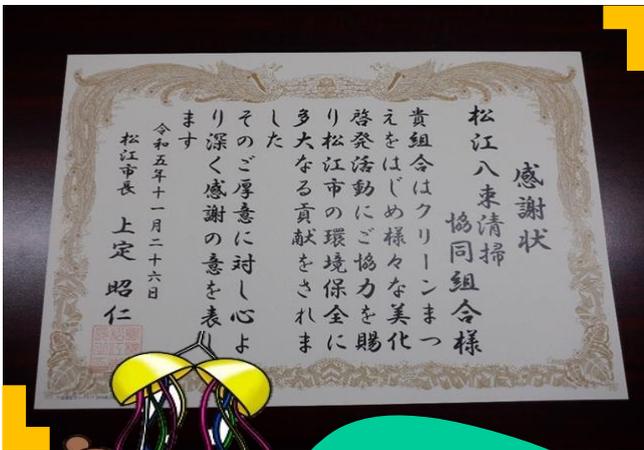
経営計画・達成手段（2023年度）

- ・宍道湖・中海一斉清掃参加
- ・クリーンまつえ参加
- ・環境活動等に積極的に参加し、支援、協力をを行う
- ・職場体験学習の受け入れ
- ・敷地内外の緑化運動の実施

環境活動に職員が積極的に参加し地域に貢献できた。今年度の職場体験学習は依頼がなかったが、あれば積極的に受け入れる。緑化運動はゴーヤカーテンを全事業所で取り組むことができた。

来年度も2023年度の活動を維持し社会貢献に努めたい。

まつえ環境 フェスティバル 2023 (R5.11.26)



松江市長より
感謝状授与

松江市の清掃行政を長らく担い、クリーンまつえなどの美化活動への奉仕参加、啓発活動に協力を続けたことが今回の表彰につながった。

クリーンまつえ
(令和5年10月18日)



「松江市ホームページより写真引用」

子ども 110 番

全車両が収集作業の中で、地域を巡回しながら「動く子ども 110 番」として地域の子どものたちの見守り活動を行っている。

ドライブレコーダー映像提供（令和4年4月12日）



安心・安全な
地域の実現を
目指します



各車両に設置したドライブレコーダーの記録データ提供に関して、松江警察署と協定を締結。地域の見守りや犯罪、事故の早期解決を目指す。



中海・宍道湖一斉清掃



宍道湖の夕景は「日本夕陽百景」に選ばれました

令和5年6月11日(日)

6月の環境月間に合わせて宍道湖水環境改善協議会が主催する「中海・宍道湖一斉清掃」に社員とその家族らで参加。



平成19年度から続けてきたボランティア活動。自由参加にもかかわらず今年も組合職員全員が参加。他事業所にも協力をいただき、活動に対しての意識の高さを感じた。限られた時間の中ではあったが、全員が汗を流し宍道湖沿いのごみを拾い集めた。豊かな自然を次世代へ残すため、これからも自然環境の保全を地域の方と共に活動を継続していきたい。



宍道湖沿いには国内外のごみが漂流。ペットボトルや枯れた植物、プラスチックごみ等、放置すると水辺の環境を悪化させるごみがたくさんあった。



18

年続けてきた
ボランティア活動

※松江市ホームページより
中海・宍道湖一斉清掃
結果報告

収集場所	【宍道湖側】 白濁公園、岸公園、千鳥南公園、玉湯、宍道	収集量	5.3t
	【中海側】 八束、東出雲、本庄、美保関		2.3t



大粒のヤマトシジミが育つ宍道湖。現在は生産量が激減している。原因として水の塩分濃度の変化や水質汚染などが考えられており、さまざまな対策が試られている。

宍道湖のシジミ漁

■緑化運動（グリーンカーテン・花いっぱい運動）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ゴーヤ	花壇作り ・土作り ・ネット張り	苗植え		収穫	強風が続き少し枯れた			
花	綺麗な花を継続して 育てることができた						花壇作り ・土作り	苗植え ノースポール デージー



積雪で花が埋もれ傷んでしまった。来年度は積雪の対策もしていこう

担当者より

ゴーヤは8月の強風による影響で所々、葉が枯れてしまったが回復し立派なゴーヤに成長。しかし、昨年度と比べると育ちが悪かったように感じた。花いっぱい運動は、敷地内に事業所を置く全職員で花を植えた。どの事業所の花壇もきれいな花が咲いた。



全事業所で大切に育てました



生物多様性等の保全活動



経営計画・達成手段（2023 年度）

- ・ 場内清掃を実施する（年 2 回）
- ・ 近隣地区のごみ拾い運動を実施する
- ・ 洗車場清掃を定期的実施する（週 1 回）
- ・ 洗車場付近溝掃除を定期的実施する（週 1 回）
- ・ 場内油水分離槽点検及び清掃を定期的実施する（業者による点検・清掃…年 1 回）

今年度も年 2 回の場内清掃と近隣のごみ拾いを実施することができた。来年度も 2023 年度の活動を維持し、環境整備に努めたい。



場内清掃

担当場所を事前に決め、作業に取り掛かった。黙々と作業に取り組み、生い茂っていた草がスッキリした。



実施日：2023 年 6 月 9 日（金）10 月 19 日（金）

実施内容：かずら切り、草刈り、近隣ごみ拾い
溝掃除等

洗車場清掃

週に 1 回、敷地内に事業所を置く組合員が交代で洗車場の溝掃除を行っている。敷地内の衛生と安全確保に心がけている。



清潔に
保たれていると
気持ちいいなあ





その他の取組

労働安全の推進/教育訓練

安全講習会



今回は、極東開発工業株式会社の方を講師にお招きし、講習会を開催。内容は車両のメンテナンスから作業中の事故防止対策など、毎日の作業を安全・快適におこなえるようご指導いただく。

緊急事態訓練（油流出事故対応）



労働災害や事故の原因になりうる不安全行動や不安全状態を予知・予測し解決能力を高めるための訓練や講習を実施。

ゲートリフター講習



安全管理者講習



エコアクション 21 内部コミュニケーション

全体会議（年3回）



現場会議（年3回）

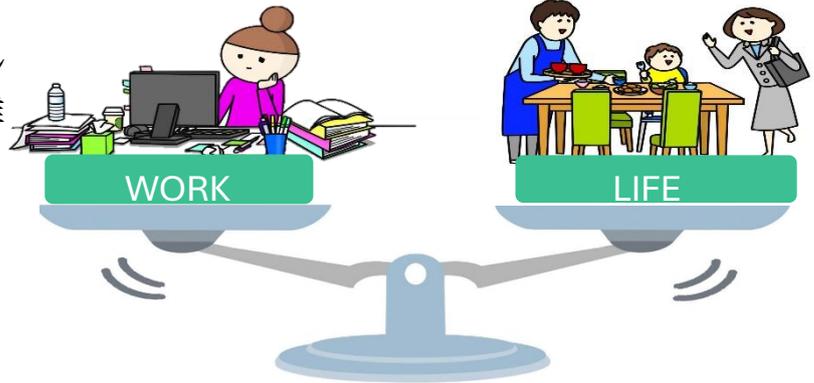


職員一人ひとりがエコアクション 21 について理解が深まるよう昨年度から会議の回数を増やした。主に現場会議においては、燃費が下がってしまった原因が経年劣化によるものかエンジン不具合によるものか急発進や急停車なのか等、データをもとに追求し定期的に報告することで問題点の早期発見やモチベーションを高く保つことに役立った。

ワークバランス



社員一人ひとりのライフスタイルや生活に寄り添った取り組みを推奨。



A 職員

健康診断は、様々な病気の早期発見につながり、生活習慣を見直す良い機会になります。



健康診断

労働安全衛生法に基づき、定期検診を年1回全職員を対象に行っている。

年次有給休暇取得

より、便利に年次有給休暇を取得できるよう、1時間単位での有給休暇の取得が可能。

通院や、役所の手続き、子供の迎えなどで丸一日、半日休む必要のない私用が多くあったので助かっています

B 職員



急な休みでも仕事の調整をいただき、仲間に助けられながら仕事と育児・介護を両立することができています。



C 職員



育児支援制度 介護・看護支援制度

育児、介護、看護休業の取得が可能。職場復帰できる環境づくりを目指している。

環境関連法規等の遵守状況 違反・訴訟の有無

当組合の事業活動における環境関連法規の遵守状況。
関係当局より違反等の指摘、訴訟なし。

適用する法令等	法令の要求事項	適用される対象	評価
廃棄物処理法	廃棄物の排出の抑制、適正な収集、運搬、処理、飛散防止	収集車全車両	○
水質汚濁防止法	公共用水域及び地下水の水質汚濁の防止	洗車場	○
道路交通法	過積載の防止、法定速度の遵守 安全運転管理責任者の選任と使用者の遵守義務	収集車全車両	○
悪臭防止法	悪臭の防止による生活環境の保全	収集車全車両	○
消防法	火災の予防	組合事務所 組合員休憩所	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物を排出する場合は、収集・運搬をする者又は再商品化等をする者に適切に引き渡す	冷蔵庫 エアコン	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車を引き取り業者へ引き渡す	組合所有車両	○
資源有効利用促進法	原材料等の使用の合理化と再生資源・再生部品を利用する努力義務	パソコン ディスプレイ	○
松江市収集運搬業務委託契約書	一般廃棄物処理計画・収集運搬業務委託仕様書に従い業務を行う	組合 組合員企業	○

■苦情・要望及び事故発生時の対応

事業活動における環境上の苦情・要望及び事故発生状況なし。

代表者による全体評価と見直しの結果

■ 環境管理責任者の報告 ■

<取組状況の評価結果>

■ 法的要求事項の遵守状況

部門ごとに定められた方法で遵守した。

<目標の達成状況>

長年続けてきた取り組みにより全部門において目標達成できた。

<周囲の変化状況>

急な休みや退職に伴う人員不足が生じた場合でも仕事の調整をし応援体制を組みながら協力し合い業務を遂行することができた。

■ 環境管理責任者のコメント・提案 ■

<環境経営方針>

定期的なミーティングにより理解を深めている。

<目標>

2023 年度は全部門において目標達成し、年別の比較表やグラフを作成するなど職員が比較できやすいよう工夫した。

来年度は全部門の実績値を目標値に設定し、より具体的な目標達成を目指す。

<システムの各要素>

引き続き、ミーティングを行いながら職員一人ひとりのアイデアや新しい意見等を出し合いより良い取り組みを目指す。また、来年度は「エコアクション 21 を楽しもう」をテーマに取り入れ、活動を盛り上げていきたい。

変更の必要性の有無・指示事項（代表者）

環境経営方針

環境への取り組みはきちんと実行されており、継続していくこととする。

変更の必要性：有 無

目標・環境経営計画・実施体制

役割分担が構築され、それぞれの意見交換や新しい提案を出し合いコミュニケーション能力を高めていくこととする。

変更の必要性：有 無

経営システムの各要素

組合職員の取り組みのシステムを、組合員従業員にも伝えることにより、更なる向上心と協力を繋げていくこととする。

変更の必要性：有 無

環境経営全体の取組状況及びその効果の評価（代表者）

2023年度の環境活動の結果、全てにおいて目標が達成出来たこと、皆さんの努力の賜物と高く評価します。

定期的に内部コミュニケーションを行い、それぞれの担当の情報交換も出来、意識向上に繋がっています。

続けていくことの難しさはありますが、改善すること・新しい取り組みを見つけて一步一步前に進んでいきましょう。

環境経営レポート（18版）の作成に当たり、とても読みやすく柔らかい仕上がりになっています。田邊環境管理副責任者の努力に感謝します。

今回の環境経営レポートは、活動内容を親しみやすい雰囲気でお読みいただけるよう写真やイラスト入りで作成しました。

来年度は、今年度よりもさらに職員全員がわかりやすく親しみやすく、そして充実した内容となるよう工夫をしながら目標に向けて職員一同、エコアクション 21 に取り組んで参ります。

最後までお読みいただきありがとうございました。



松江八束清掃協同組合